

議会答弁事項進捗状況調書

平成25年9月	議員名	神近 寛		
	担当部	教育委員会	担当課	学校教育課
質問年月日	平成25年9月9日			
質問項目	通級指導教室、特別支援学級について			
【質問要旨】				
① 「ひかり教室」拡充の検討状況を伺う。				
② 特別支援教育支援員の増員及び特別支援学級の増設について				
【答弁要旨】 【答弁者:教育長】				
① 現在、小学校に通級指導教室が1校しかない現状の解消や保護者送迎の負担軽減等を目的として、新たな通級指導の北部地区拠点校の設置を検討している。できるだけ早い時期に開設するべく、開設校の選定や開設場所、施設・設備の整備費の算定、教職員の配置について、検討している。				
② 各種補助員の増員については、各校から一層の充実を図ってほしい旨、要望が出ている。したがって、来年度以降も、その充実を図るよう努めていく。特別支援学級未設置の学校については、今後、一定期間の入級児童生徒が見込めること、施設・設備への配慮や教職員の配置など、総合的に判断する必要がある。				
【対応状況・進捗状況】				
対応済		(平成26年4月23日)	検討・対応中	実施不可
■平成26年5月29日現在				
① 通級指導教室の北部地区拠点校として竹松小学校内に、言語及び情緒の通級指導教室を開設した(開始式4/23)。6月末以降、現在カメリア幼稚園が使用している園舎に指導環境を整備し、開設事業は完了する。				
② 平成26年度から小中学校3校(松原小・富の原小・大村中)に特別支援学級を3学級新設した。要配慮児への支援を行う各種補助員については、県の新規事業を活用し昨年度より9名増の計34名を雇用し、市内小中学校17校に配置した。				